



猪苗代町長
津金 要雄

明けましておめでとうございます。

新しい年の門出に当たり、日ごろ町政にお寄せいただきありがとうございます。ご協力に對しまして、ここに深く感謝申し上げます。

日本経済は、景気の後退により企業の収益悪化が雇用の悪化を招くなど悪循環に陥り、深刻な状態となっております。地域経済に与える影響は大きく、商工・観光・農林業も厳しい局面にさらされています。

地方においてもこのように厳しい情勢が続く中で、本町は「豊かな自然とすべての命を大切にする活気あるまちづくり」を基本理念とした「第六次猪苗代町振興計画」のもとに町政を推進しています。

昨年を振り返りますと、3月にフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会の成功、体験交流館の竣工、10月には町立猪苗代病院の落成など大規模な事業が推進された一方、大型台風の影響や新型インフルエンザなど突発的事態への対応に追われました。

また、環境省の発表する「全国湖沼水質ランキング」においては、19年度とランク対象外でありましたが、今年も全国2位に入ることができました。これも、県民や町民の皆さん、そして各関係機関や関係団体が日本一を目指し、水質保全運動に取り組んだ成果が現れたものと考えているところです。

これからの地方自治体は、国や県とのかわりもありますが、上部組織に変化があっても微動だにしない自主・自律の主体性をもつことが何よりも重要で、そのためには町民の皆さんの参加と協働が不可欠となります。「人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が輝く猪苗代」を目指して、町民の皆さんが本町に住んで良かったと実感できるよう、農業と観光、福祉と教育のまちづくりを積極的に推進してまいりますので、今後ますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆さんにとりまして幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ



猪苗代町議会議長
関澤 和人

新年明けましておめでとうございます。

町議会を代表いたしまして新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆さんには、ご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

国政においては、衆議院議員総選挙の結果、54年間続いた自民党政権から民主党への歴史的政権交代がありました。新政権においては、選挙公約に掲げた、国中心の政治から地方の自主的政治として「地域主権」が議論されています。

わが国においては、年末の「円高」による国内景気の先行き不透明感からの株価下落などにより、一向に景気回復の兆しが見えてきておりません。大学生などの新卒者就職内定率が、「就職氷河期」の時よりも悪化し、派遣禁止法による中小企業経営者の経営悪化懸念など、さまざまな要因に基づく雇用不安等により、消費の低迷とデフレ経済は今後も続くことが予想されます。政府は、年末に7兆2千億円規模の緊急経済対策を盛り込んだ第2次補正予算を閣議決定し、1月の通常国会に提出することとしています。22年度予算の圧縮策として「行政刷新会議」による事業仕分け作業が実施され、地方にとって重要な地方交付税交付金なども見直しの対象となりました。

本町においても、定住人口の減少や土地価格の下落などにより町税増収が見込めない中、高齢化の加速による扶助費等の増加など、取り組む課題は多岐・多様にわたっています。町の将来像である「人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が輝く猪苗代」に向かって、議会と行政が力を合わせ、安心して暮らせる町づくりを進めていきます。議員一人一人が研さんを重ね、資質の向上に懸命に努めますので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆さんの限りない幸せと、穏やかな毎日でありますことを念じまして、新年のごあいさついたします。



猪苗代町教育長
土屋 重憲

新年明けましておめでとうございます。皆さんにおかれましては、お揃いで、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ると、3月には大成功に終わったフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会、体験交流館(学びいな)の竣工、新型インフルエンザの流行、大型台風の影響、政権交代、町立猪苗代病院の落成など全国的に見ても、わが町にとりましても極めて密度の濃い年であったように思います。

世の中全体の傾向としては、回復しづらい複雑な不況が根底にあり、社会全体を重苦しい空気が覆っている、そんな感じが否めません。

そんな中、この逼塞感を吹き飛ばすかのように、ゴルフ界の石川遼君に代表されるような、十代から二十代前半の若い人たちの目覚ましい活躍が各界で見られました。

本町でも、スキーの鈴木猛史君や井上賢之介君の活躍などは記憶に残るところです。これらに続く町内の児童、生徒諸君もこの複雑な時代の子であるのにもかかわらず、高学力を維持している学校、さまざまな分野で県、東北や全国レベルで表彰を受ける学校も出るなど、よく頑張っていました。いうまでもなく家庭、地域、学校が丸となって取り組んだ成果だと思います。本町の未来を開く子どもたちの教育、人材の育成は常に最重要課題であって、猪苗代町の安定、発展の力基は教育の営みの中に存在する、と言っても過言ではありません。

教育委員会といたしましては、昨年9月の子育て環境の整備に関する町教育施設適正配置等推進委員会の提言書や皆さんからのさまざまなご意見などを参考にさせて頂きながら、教育環境の整備を始め、種々施策を推進してまいります。変わらぬご指導、ご支援のほどをお願い申し上げます。